



小池 光遠

麦の秋追分町の道標みぎハ京みちひだりふし
みみち

大津市 千川 修一

【評】江戸時代の道標が、いろんなところに
いまでもひっそり残っている。右に行けば京
の都へ、左なら伏見へ。俳句的な短歌で「麦
の秋」という季語がうまく働いている。

母よりの伝言一つあるごく前に後ろに添う黒
揚羽

垂水市 岩元 秀人

【評】亡き母を偲ぶ歌。大きな黒揚羽が体の
前後にまつわりついて離れない。母からの伝
言を伝えるのではあるまいか。しらべがなめ
らかで、ていねいに仕上げられた一首。

ラジオから「春が来て君はきれいになった」そ
れほどもとはにかむ私 大垣市 阿部まどか

【評】歌はイルカの「なごり雪」。じぶんの
ことが歌われているわけでもないのに、「は
にかむ」までする私が、おもしろい。

欲のなきままに生き抜き欲のなきままに死にた
り 妻は美し 平塚市 冬野 旅人

命果つこと悟りしか病む夫は「よくして呉れた」
と初めて言いし 京都市 深谷 千賀

六十年前の静かなアメリカよ現地の人と学び遊
びぬ 小平市 栗原 良子

苦も楽も共に六十五年経ぬ明日から妻は介護施
設へ 城陽市 相原 洋次

ブランコの鎖しっかりにぎりしめゆらゆらゆら
ゆら私は子供 大阪市 上平 幸恵

雨降れば広げてみたき番傘のパリパリ音と油の
臭い さいたま市 斎藤 宏遠

縁石に座る園児ら水筒水を乳吸ふやうにコクコ
クと飲む 町田市 根石 節子

栗木 京子 選

落雷の犠牲者を知るリーダーは雷鳴ひとつで下
山を決める 埼玉県 矢内とき子

【評】雷鳴はまだ遠い、と思っても油断禁物。
危険が迫っている。「雷鳴ひとつで下山」の
リーダーの判断は、過去の悲劇を知るからこ
そ。歌のしらべから緊張感が伝わる。

人の見ぬ桜葉の陰サクランボは知らず踏まれ
て地の恵と消ゆ 小山市 多田木まさのり

【評】人知れず実って、地に落ちて、そして
踏まれたサクランボ。愛らしい形や色合いを
思うと哀しくなる。ただ「地の恵」という表
現に温もりがあり、情景に味わいが出た。

三輪車降りてペダルをしらべある幼の手つき思
案あるらし 宇治市 佐野 徳子

【評】泣いたり大人を呼んだりせず、自身で
ペダルの不具合を調べている幼児。じつに頼
もしい。「思案」が哲学的に感じられる。

店先のフキのみどりは翡翠色今年の夏の入り口
に立つ 岩倉市 夫馬 和子

雷なりて梅雨明けしたかテーブルの白磁の皿の
プリンが揺れる 富岡市 宮前 咲恵

転職の理由を聞かれ口さきは鴉のごとく台詞を
吐きぬ 東京都 岩本 遥

平安の子等を思はずカモジグサ稲穂のやうにゆ
らゆらと揺る 宮崎市 松久 寅雄

スマホとかマイナンバーなどないときに自分の
いのち終へたかつたな 大和市 二界友理子

頂きし紫陽花の葉にカタツムリ「当たり」みた
いで何だか楽し 津山市 山川 知世

沢蟹を獲りて遊びし山はいま巨大物流基地とな
りゆく 川西市 片岡 順子